

令和2年度 卒業式・学位記授与式

## 告 辞

このコロナ禍の中、みなさまと直接、顔を合わせることはできませんが、みなさまの卒業修了を祝う日を、本日、ここに迎えられましたことは、本学にとりましても誠に大きな喜びであります。

また、卒業生修了生のみなさまをはじめ、この日まで暖かく支援してこられたご家族のみなさま、親身になって指導されてこられた先生がた、そして関係する全てのみなさまが、本日、このめでたい日を迎えられましたことに対して、心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

さて、21世紀になり、20年経ちました。

これから日本は、世界は、どのような社会になっていくのでしょうか？来るべき理想的な社会は、第四次産業革命と、それに続くSociety5.0と言われており、Society5.0、すなわち「超スマート社会」の実現のために国もさまざまな政策を立てています。ご存じのように第一次産業革命とは18世紀の蒸気機関が発明され動力が機械化されたことを指し、20世紀初頭における電力利用の第二次産業革命、20世紀半ばから後半にかけてのコンピュータの発達による第三次産業革命と続き、今回の第四次産業革命は二つの事柄を含んでいます。ひとつはIoTとビッグデータで、これを解析し利用することで新しい価値が生まれます。もう一つはAIで、コンピュータ自らが学習し、一定の判断を行うことができるようになります。

一方、人類の歴史における社会の変化は、先ず、狩猟社会があって、それがSociety1.0、その後、農耕社会、工業社会と変化し、情報社会がSociety4.0で、それに続く第四次産業革命がもたらす新しい社会がSociety5.0となります。Society5.0では、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、その結果、今までにない新しい価値が生み出されます。また、AIによりロボットや自動走行の自動車、診療などが可能になり、少子高齢化、人口減少、地方の過疎化などの諸課題が解決できると言われています。

そういったSociety5.0を目指す動きの中で、一年前に突如として起こった、新型コロナウイルス感染症の発生と拡大は、私たちの生活を一変させました。新型コロナウイルスは元々、森林奥深く野生生物と共生していたウイルスが人間による環境破壊の結果、私たち人間社会に出現したと言われており、人間みずから起こした人類に対する脅威の一つと考えることができます。謂わば私たち人間が科学技術を発展させ、便利で住みやすい豊かな社会を求めて経済活動をとことん押し進めた結果でもあります。新型コロナウイルス感染症は人との接触によって感染することから、感染防止のため

には人との接触を制限することが有効です。そのため、経済活動をはじめ、人の移動や人と人との触れ合いを基にするさまざまな活動が、大きな制約を受けました。そんなコロナ禍の中で、さまざまな活動が少しでも継続できたのは、情報技術の発展のお蔭といえます。

他方で、このような感染症が拡大している中でも気候変動による大きな災害が日本だけでなく、世界各地で頻発しています。気候変動の問題は、大量生産・大量消費、利潤追求を至上命題とする、これまでの資本主義のやり方を見直し、利潤だけを追い求めるのではない社会、これまでとは異なった価値観を持った社会の実現が必要であることを強く示しています。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、Society5.0への移行は加速され、感染症が収束した後では、経済活動の在り方、人間生活の在り方が、元に戻るのではなく、違った形に大きく変化することが予測されます。そういった新しい形の社会では、新たな資本主義のルール、民主主義のルールを作る必要があります。この機会を奇貨として、卒業生修了生のみなさま一人一人が、真剣になって考え、しっかりと取り組み、ルール作りをして、できるだけ良い社会を作っていくことを期待しています。

卒業生修了生のみなさまが鳥取大学で学んで得たのは、単なる知識・技術だけではありません。本学の基本理念である「知と実践の融合」に基づいた、学び方や、学ぶ姿勢、行動する姿勢です。様々な情報が大量に溢れる中で噂や雰囲気によって惑わされず、できるだけ現場に足を運び、きちんと自分の目で見て、耳で聞いて正しい情報を集め、自分の頭で考え判断し、行動する姿勢です。卒業修了後もみなさまそれぞれが常に広い視野を持って、事実をしっかりと見極め、問題意識をもって行動し、近い将来、多くの人々が安心して暮らせる、心の豊かさを感じる良い社会を築いてほしいと願っています。

また、卒業生修了生のみなさまには、それぞれの分野の専門家である前に、常識ある社会人、文化芸術も楽しめる人間性豊かな人になっていただきたいと思います。これからの人生、常に世のためひとのためということ意識して行動し、その結果、社会がよくなり、卒業生修了生のみなさまが実り多き豊かな人生を歩まれますことを心から祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和3年3月17日



鳥取大学長

中島廣光